

労務理論学会第1回大会記録

労務理論学会第1回大会は、1991年5月10日（金）～11日（土）の2日間にわたって、次のプログラム（統一論題「日本的経営の中での労務問題」）により、中央大学駿河台記念館において開催された。大会参加者は74名、懇親会参加者は47名であった。

5月10日（金）

研究報告（会場：670号室、10:00～12:00）

司会：小林 康助（名城大学）（報告各45分・質疑10分）

1. 日本的雇用慣行の日本的「アメリカ化」 長谷川 廣（中央大学）
2. 日本的経営における女子労働の推移と変貌 藤井 治枝（東京農業大学）

（休憩・昼食 12:00～13:00）

研究報告（会場：670号室、13:00～15:00）

司会：渡邊 貞雄（札幌学院大学）（報告各45分・質疑10分）

3. 日本的生産システムと「日本的労使関係」 青山 茂樹（静岡大学）
4. 「日本的経営」とコンピュータ化・ME化 山下 高之（立命館大学）

（休憩：15:00～15:10）

講演会（会場：670号室、15:10～16:10）

紹介および通訳：海道 進（奈良産業大学）

以前のドイツ民主共和国における市場経済への移行

——社会経済的課題と諸問題—— エッケハルト ザクセ（ベルリン経済大学）

（休憩：16:10～16:20）

会員総会（会場：670号室、16:20～17:20）

（休憩：17:20～18:00）

懇親会（会場：記念館1階・レストランプリオール、18:00～20:00）

5月11日（土）

研究報告（会場：670号室、10:00～12:00）

司会：高木 督夫（法政大学）（報告各45分・質疑10分）

5. 「日本的労務管理」と弾力化——国際比較のために—— 木元 進一郎（明治大学）
6. 年功賃金と労働力の価値法則 海道 進（奈良産業大学）

（休憩・昼食 12:00～13:00）

シンポジウム（会場：670号室、13:00～16:30）

司会：島 弘（同志社大学）

統一論題「日本的経営の中での労務問題」の報告者全員に対する質問および討議。